

議 事 録

会議の名称	第3回岩倉市部活動検討懇談会
開催日時	令和6年2月6日(火)午前10時00分から正午まで
開催場所	岩倉市役所第2・3委員会室
出席者(欠席者)	有尾幸市会長 今井秀明副会長 櫻井智委員 大藪かおり委員 七澤秀一郎委員 高岡良治委員 橋詰直樹委員 武藤栄司委員 宮木康夫委員(櫻井伸賢委員) 事務局:教育長、教育子ども未来部長、学校教育課長、管理指導主事、 指導主事、学校教育グループ長、学校教育グループ主任 生涯学習課長、生涯学習グループ長、スポーツグループ長、社 会教育指導員、社会体育指導員
会議の議題	(1) 中学校部活動の地域連携・地域移行推進計画について (2) 合同部活動のモデル事業について (3) 地域活動の周知について (4) その他
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> その他(事務局決裁)
会議に提出された資料の名称	資料1 岩倉市における中学校部活動の地域連携・地域移行推進計画(案) 資料2 岩倉市部活動地域移行モデル事業WG打ち合わせ(報告) 資料3 中学生が参加できる地域の市民団体一覧表
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0 人
その他の事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>教育長: 第1回は中学校部活動の地域移行に係る様々な可能性を、第2回は懸念事項や方向性について議論を進めてきました。今回はこれまでのアンケート等を踏まえて推進計画を作成しました。また、モデルケースについても提案させていただきます。</p> <p>会長: これまでの2回の懇談会を経て、まだ部活動のイメージが固まっておらず、力不足を感じているところでしたが、最近見たドラマで刺激を受けました。</p>

「不適切にもほどがある」という昭和の教師が令和にタイムスリップするという設定のドラマで、部活中に水を飲まない、連帯責任でケツバットといった、今だと非合理だが、当時は当たり前のようにやっていたことを滑稽に描いていました、現代についても、働き方改革、コンプライアンス、多様性などの言葉が先行して世の中を窮屈にしているようにも受け取りました。それを部活動の取組に照らして考えると、地域連携や地域移行をゴールにしては、手段が目的になるので窮屈になると感じます。

文化、スポーツに子どもたちを触れさせること、そのために地域の大人が関わっていくこと、教師が本来の仕事に専念できることを大事にしつつ、様々な方の意見をいただきながら、何が問題、課題かを考えていくことがこの会議の役割なのかと考えています。

2回の懇談会を経て、学校や教育委員会の取組が出てきておりますので、報告などを踏まえながら道筋が見えていくとよいと思っています。

議題に入る前に、運営の確認について事務局からよろしくをお願いします。

3 説明事項

事務局：本日の会議は原則として公開としております。要点整理を行い委員の皆様を確認をいただいた後、ホームページへ掲載します。

4 議題

議題（１）中学校部活動の地域連携・地域移行推進計画について

学校教育グループ長：資料１に基づき説明

委員：第１回、第２回で見たことがある資料ばかりです。推進計画は最終ページの下半分位だと思います。もう少し切り込んだ内容であった方がよいと思います。

事務局：１年位前から、小学校高学年や中学生、保護者、地域の方にアンケートを実施してきました。アンケート結果について報告できていなかった計画に掲載しました。また、計画の中身については今後検討を進めていく中で、内容の見直しも随時行っていきたいと考えています。

会長：計画の７ページ「３ 子どもファーストで考える、岩倉市部活動地域連携・地域移行の考え方」について、方策１では、学校の部活動の枠を残しつつ指導者の比重を地域人材に移していくこと、方策２では、既存の団体等の受け皿を紹介していくという考え方だと思います。工程表を踏まえてモデル事業を進めていって欲しいと思います。

意見がなければ、中学校から議題２について説明をお願いします。

議題（２）合同部活動のモデル事業について

委員：資料２に基づき説明

会長：合同部活動のモデル事業である柔道の紹介をお願いします。

委員：柔道は個人種目なので合同部活動として既に開始しています。顧問は両方ではなく片方で行うこともあります。大きな問題は発生していません。来年度から柔道連盟の大会は合同チームで参加することを考えており、3月までに話を進めたいと考えています。

愛知県中小学校体育連盟の大会は合同チームで参加するメリットがありませんので各校で参加する予定です。土曜日の練習を合同でやっているうちに保護者の方が顔を出すようになってきました。毎週来てくださる方もいます。

事務局：保護者の方を地域人材として期待できるという話ですが、サポーターとして参加される方はいますか。

委員：10年前に定年退職された方がいるので、大事にしていきたいと考えています。

合同で実施することは生徒たちにもメリットがあります。仲良く活動できるだけではなく、毎週土曜日を目標に、対戦相手の対策を研究したりしています。

会長：大会の違いについて、「愛知県中小学校体育連盟」は学校対抗で、「柔道連盟」などは民間が主催する大会です。吹奏楽については何かご意見ありますか。

委員：子どもたちも何もないところに飛び込むのは難しいので、間口を広げることが大事だと思います。平日以外の活動が主体の団体も多いと思いますので、土日の開催時に学校から見学ツアーをお願いしたいです。

受入先を見学できる環境を子どもたちに用意したいと思います。子どもが一人で来て判断するのは難しいと思います。保護者の方にも見学していただくと、安心してもらえると思います。

会長：スポーツ協会の立場としてはどうですか。

副会長：保護者が見学するということはとてもよい意見だと思います。保護者が見学して安心することや、見守ってくれることは有難いと思います。

会長：学校としてはどうですか。

委員：教員に指導者経験がない部活動に週3回程度来てくださる方がいます。大変有り難いです。

会長：保護者ですか。

委員：保護者ではありません。

委員：世の中も地域移行についての関心が高まってきているのか、多くの方から、少し手伝いたいという声を聞きます。現在、スポーツ少年団で卓球を教えている方が来てくれたりしています。問題点として、卓球は部員数に対して卓球台が足りていません。3月に南部中学校を含めて話し合う予定です。パソコンは、C o d e r D o j oという団体に所属し、生涯学習センターで月1回無料体験を開いている方がいるため、体験できないかと考えています。剣道は南部中学校は無くなってしまったが、OBが指導に来てくださる話があるので3月に話し合いをしたいと思っています。

学校としての問題は、窓口をすべて校長が行なっていることです。移行期ではあるので行っているが、今後は改善したいと思っています。

会長：参加してくださる方が増えていますが、これは何か働きかけがあつてのことなのか、自然発生的に出てきているのか、どちらでしょうか。

委員：社会の動きから自主的に来てくださること、保護者の方が働きかけてくださること、教員が卒業生を紹介すること、私から声をかけることなど様々です。声掛けもありますし、自然発生もあります。

会長：今後、中学生になる小学生がターゲットになると思いますが、小学校主体になることはないと思いますので、誰が主体になるのかという課題は残るのかと思います。事務局の考えはありますか。

事務局：保護者説明会で市民団体の一覧を渡し、その際に部活動は強制ではない、地域の活動に参加することも勧めていることを伝えたいと考えています。保護者が部活動に入る必要があると思いつているケースがありますので、入学説明会の際に案内できたらと思っています。

教育長：推進計画の配付と同時に中学生の受け皿の確認、指導者に対する説明会を令和6年3月18日（月）の午後7時30分に実施いたします。

説明会には中学生の受入れや、指導に興味がある団体に参加していただいて、その場で受入れ条件等を集約した内容を、中学校や小学校を通じて保護者の方にお知らせしたいと思っています。

委員：モデル事業について、学校側から生徒に向けて未来の部活動についての説明会を行い、子どもたちの意見を資料2に記載しました。

部長、副部長といったリーダーが集まった会ではありますが、部活動を続けたいという意見が多かったです。アンケートの意見とのバランスが大事であると思います。

会長：子どもたちの意見を大事にするのが本来の目的なので、ぜひ確認をお願いします。

地域の方が来てくださり、雪だるま式に増えるとよいという思いがありますが、問題もあります。窓口は学校であり続けるのか。また、部活動指導員、部活動サポーターといった報酬の上限について、事務局から意見はありますか。

教育長：予算が当然課題となります。膨らみ続けるのは持続可能ではありません。保護者は見守り程度でお願いしたいです。

受益者負担にせざるを得ない状況となった場合にどの程度賛同いただけるのか、各団体に参加する方はお金を払って行っています。学校の部活動の枠を崩さないで、受益者負担とするのは無理だと思います。

地域クラブを立てて、受益者負担とする必要があり、その場合は学校保険が効かなくなるので、移行期は市から充当するにしても、財源をどうするのかという問題もあります。

窓口についても、学校に任せっきりはよくありませんが、具体的な話は学校でないと難しいと思います。

委員：当面は学校が窓口になる必要があるし、部活動毎の話になると思います。部活動に関わる説明の基本となるガイドライン的なものを市に用意してもらいたいです。また、いずれ受益者負担についても考えていく必要があると思っています。PTA 会費を学校で使っている部分もあり、今までは全員が部活に入っていたのでよかったです。保護者の理解等整理していく必要があると考えています。

会長：学校側の課題として検討してください。

委員：サポーターについて、別の自治体でボランティアをやっています。大会に連れて行っていますが、岩倉市のサポーターが謝礼をもらっていることを知りませんでした。謝礼を受け取ると責任が発生しますので、気軽に参加しづらくなりますが、ボランティアとしてなら気軽に参加できるため、別とした方が間口を広げることができると思います。

会長：今井副会長どう思いますか。

副会長：よい意見だと思います。スポーツ少年団では好きで子どもに教えているので指導者も無報酬でやっています。中学校では違う面があるかと思いますが、ボランティアサポーターというのもよいと思います。

会長：事務局でもご検討ください。スポーツ少年団の保護者の負担感はどうですか。

副会長：スポーツ少年団を離れましたが、当時は保護者の負担感はなかったかと思います。ただ、スポーツ少年団と中学生は別であるかと思いますが、小学生だといろいろなスポーツをやらせたいという思いがあって、親の支援もあるかと思いますが、それが中学生となると違ってくるといった感じがします。

委員：指導者が当たり前前に学校にいる状況にできると子どもたちのためになると思います。教員の意見と合わせてバランスよくいきたいです。

委員：学校の部活動は今まで学校の教員が支えていたこともあり、外部の指導者を嫌がる教員もいます。地域移行を前提として来年度からは人材がいたら入れていく方向とすることを教員には伝えてあります。

委員：岩倉北小学校で野球を教えていました。きっかけは保護者として参加したことなので、間口を広げて見学できる環境が大事だと思います。

ただ、指導者多い場合は指導方針の擦り合わせをしっかりとする必要がありますと思います。

報酬については、子どもたちのためであればボランティアが普通かと思います。負担感について、道具、消耗品について、スポーツ少年団では年に1千円を支払っていましたが、決算を見せてもらって納得していました。

自分の子どもがクラブチームに入っており、月に8千円払っていますが、抵抗感はありません。

議題（3）地域活動の周知について

事務局：資料説明

委員：中学生にこの資料を配付しますか。

事務局：はい、団体の紹介を考えています。

委員：子ども目線だと、見たこともない団体、スポーツ、芸術だと紙1枚で見せられても、理解できない可能性が高く、子ども向けには一工夫いると思います。子どもたちが置き去りにならないようにしたいと思います。

副会長：スポーツ少年団は年1回案内を出しています。

委員：子どもたちに斡旋して体験までいかないと続かないと思います。そのためには、指導者に説明をして、指導者が学校に来ていただいて、体験会を行うことが必要かと思います。イベント等を行って地域の団体さんと絡めたり、斡旋していけたらと思います。

会長：情報を相互に交換することも大事だと思います。

委員：南部中学校は、17時には完全下校で、冬はさらに早くなります。

アンケートを見ると子どもたちは下校後の時間をゲームなどに充てています。これまでの、部活動を遅い時間までやって家に帰ったらご飯を食べて寝るという過ごし方とは違うことを保護者にも理解してもらう必要があります。

保護者に、子どもが早く帰る分そこから運動や文化的な活動をするという話をお子さんと一緒に考えていきませんかという視点で部活動だより等に盛り込んで伝えていきたいと思います。

委員：学校でできることはどんどんやっていきたいと考えており、大藪校長先生とも連携しています。学校がアイデアを持っていくときに、学校教育課や生涯学習課の担当者があると話しやすいので、窓口を作って欲しいです。

副会長：輪を広げて、いろいろな人が携わるようにしていきたいと思います。

会長：様々なご意見ありがとうございました。参考にさせていただきたいと思います。事務局に進行を戻します。

部長：本日の様々なご意見を踏まえて検討していきます。

全ての要望をかなえることは難しいですが、サポーターの増員と、指導員の配置はしたいと思っています。検討課題は様々ありますが、今後もよろしくお願いします。